

「なくそう！世界の児童労働」キャンペーン期間中の5月27日、キャンペーン関連イベントとして第11回学習会を開催しました。この回では、「インドの子どもが写した、働く子どもたち」ミニ・写真展、「児童労働をなくすために～フェアトレードの取り組み」セミナー、児童労働問題を考えよう！ミニ・コンサートの3つのプログラムを行いました。

セミナー「児童労働をなくすために～フェアトレードの取り組み」

フェアトレードとは、貧困のない公正な社会をつくるために、公正な国際貿易を推進する取り組み。対話と透明性そして互いの尊厳に基づき、アジアやアフリカの国々との対等な貿易のパートナーシップをめざしています。フェアトレードカンパニー株式会社は、NGOであるグローバル・ヴィレッジのフェアトレード事業部門として、1995年に誕生し、世界20カ国、70団体のパートナーとフェアトレードを行っています。今回の学習会では、広報ディレクターである胤森なお子さんにお話しいただきました。

<発表要旨>

フェアトレードは、立場の弱い、とりわけ「南」の国々の生産者や労働者の権利を守り、より良い取引条件を提供することで持続可能な発展を促すもの。寄付のように一時的で一方的なものではなく、持続的な取り組みとして欧米から始まった。フェアトレードカンパニーでは、日本と欧州でフェアトレード商品を販売しており、消費者啓発を通じたフェアトレード普及を目指している。商品売ることは手段であり、目的は貧困・環境破壊をなくすことだとし、キャンペーンやイベントを実施している。また、IFAT（国際フェアトレード連盟）にも加盟している。

IFATにおけるフェアトレードの基準では、児童労働を「禁止する」という文言はない。IFATの先進国側のメンバーは「禁止」と入れようとしたが、途上国側が非現実的だと反対したため、「子どもの権利を守る」という文言になっている。成長に有害な児童労働は禁止だが、子どもの仕事は禁止せず、将来の選択肢を持てるようにすることを大切にしている。

フェアトレードによる児童労働への取り組みとして、インドのフェアトレード組織「タラ・プロジェクト」の活動がある。インドでは、従順に働く上、小さい手が作業に向いていると、手工芸品産業に多くの子どもが従事している。親の収入が少ないために農村地域から出稼ぎにくる例が多く、5歳から働いている子もいる。労働環境は窓がない、換気がない、床に座ったまま10～12時間作業するなど、劣悪である。パーナーや接着剤を使う時も、目や手を保護するものはない。消費者はインドの中流階級の女性が多く、結婚式などで着飾るために買う。そこで、「あなたの結婚を子どもたちの血で飾らないでください」というポスターを作るなど、消費者向けのキャンペーンを行っている。



フェアトレードカンパニーの胤森さん

また、教育機会を提供するために工場主と労働時間を短縮するよう話し合いをしたり、講師を派遣し青空教室を開いたりもしている。読み書きができないと不正な契約をしまい、搾取の対象にもなりやすい。

児童労働の場合、子どもを工場から追い出すことは解決にはならず、さらに違法な労働に従事する可能性が高くなる。親も子どもを働かせる罪悪感がなかったり、子どもも親を喜ばせるために働いたりしている。究極の原因は貧困であるため、フェアトレードのプロジェクトを立ち上げた。親に収入の機会をつくるのが、一番の児童労働抑止策になる。

IFATのメンバーは現在世界70カ国、約300団体あり、フェアトレードは世界に広がりつつある。相互評価と情報公開を通じて基準の遵守を確認するためのチェック機能を整えるなど、一層の質の向上が図られている。現在100万人の生産者や農民が直接・間接的に恩恵を受けている。メンバー団体は、毎年10～20%ずつ増えており、それに伴って公正な収入を得られる人の裾野も広がっている。日本でも認知度は少しずつ高まっており、今後の発展が期待できる。

IFAT(国際フェアトレード連盟)によるフェアトレードの基準

1. 生産者に仕事の機会を提供する
2. 事業の透明性を保つ
3. 生産者の資質の向上を目指す
4. フェアトレードを推進する
5. 生産者に公正な対価を支払う
6. 性別に関わりなく平等な機会を提供する
7. 安全で健康的な労働条件を守る
8. 子どもの権利を守る
9. 環境に配慮する

< 質疑応答 >

- Q. 児童労働が社会的に当たり前になっている中で、親の意識を変えることはできないのか？
- A. タラ・プロジェクトでも、ソーシャルワーカーが親を訪問する取り組みがあり、できるだけ地域の有力者と話をしている。プロジェクトは30年以上続いており状況は改善されつつあるが、根が深すぎてゼロにするのは難しい。長期的スパンで考えるべき問題であり、今の子どもが大人になってだんだんと変わるかもしれない。
- Q. フェアトレードカンパニーは株式会社だが、利益を出せているのか？
- A. 株式会社でも NGO でも、活動を継続させるために利益を出さなければならない。私たちの会社は95年の法人化以降しばらくは赤字で、2001年からはずっと黒字であるが、最終利益は1%に満たず、為替などで容易に赤字になりうるなど状況は厳しい。しかし、環境や他人に不利益を押し付けて利益を出す貿易に反対し、そうしないで成り立たせることがフェアトレードの使命のひとつである。フェアトレードでも利益を出せるという実例を作りたい。
- Q. フェアトレードは零細生産者が対象となっているが、プランテーションでの児童労働についてどう影響するのか？
- A. プランテーションは大資本を持った企業によって経営され、小作人として子どもを雇っているなど、フェアトレードの理念にそぐわないが、なくすことは出来ない。私たちは零細生産者を対象としたフェアトレードのプロジェクトを行う一方で、プランテーションにおける労働条件を改善する取り組みもしたいと考えている。

「インドの子どもが写した、働く子どもたち」ミニ・写真展 & 児童労働問題を考えよう！ミニ・コンサート

ミニ写真展では、インドの児童労働者の写真を紹介しました。これらは、働く子どもの「遺産と伝説」キャンペーン(OLAL)がインドで行っている活動の一環として、インドの子どもたちが撮影したものです。都市で工芸品を売る子ども、学校へ行くお金がないマンゴー売りの子も、「夢は警察官」というさとうきびジュース売りの子もなどの写真が紹介されました。キャンペーンのポストカードにも、13歳のアルン君が撮影した写真が使われました。OLALのHPでもたくさんの写真を見ることができます。(http://www.olal.net/)



キャンペーンテーマソングを歌う
シンガーソングライターのKOWさん

シンガーソングライターのKOWさんと、パーカッショニストである古川はじめさんによるミニ・コンサートでは、キャンペーンテーマソングの「ひとつの重荷」を含む4曲を演奏していただきました。サンバ調でこの曲が作られた背景について、「つらい状況をあえて明るい曲に乗せて表現したかった」とKOWさん。児童労働を知ってもらいたいという時に、「まずこの曲を聴いて」と差し出せる1曲になればと話してくださいました。この曲と譜面はキャンペーンサイトからダウンロードできます。ぜひお聴きください！

児童労働ネットワーク第12回学習会のご案内

- 日 時：2006年7月12日(水) 18:30～20:30
会 場：UIゼンセン同盟 7階ラウンジ (東京都千代田区九段南4-8-16)
講 師：郷野晶子さん UIゼンセン同盟 国際局長/TWARO 書記長
テーマ：「スポーツウェアブランドとの対話 ～CSR活動推進における組合のアプローチ」
参加費：一般 500円(児童労働ネットワークの会員は無料です)
申込み：お名前、ご所属、メールアドレス、会員/非会員、学習会を知ったきっかけを明記の上、7月10日(月)までに cl-net@acejapan.org まで申し込みください。

児童労働ネットワーク(CL-Net)は会員を募集中です！！

会員になると、会員のメーリングリストや学習会、運営会(オブザーバー参加)に参加することができます。

会員になるには？

会費を郵便振替にてお振込みください。
事務局からご連絡させていただきます。

郵便振替口座：00160-8-685281
口座名義：児童労働ネットワーク

会員の種別と会費(会費期限は毎年9月～8月)

正会員 (総会での議決権あり)	団体	一口5000円(一口以上)
	個人	一口5000円(一口以上)
協会員 (総会での議決権なし)	団体	一口1000円(一口以上)
	個人	一口1000円(一口以上)

(振替用紙の通信欄には、必ず会員の種別と口数を記入してください)

この短信は児童労働ネットワークのイベントにご参加いただいたみなさま、またネットワークの会員団体とつながりのある皆様にお送りしています。送付先の変更や送付不用の場合は事務局までご連絡ください。

児童労働ネットワーク(CL-Net)事務局 〒110-0015 東京都台東区東上野1-20-6 丸幸ビル3F (特活)ACE内
TEL/FAX 03-3835-7555 E-mail: cl-net@acejapan.org URL: http://www.acejapan.org/cl-net/